

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和8年7月20日 第202号

小栗忠順(上野介)の墓参りに行ってきました

私が尊敬する人物は、昔から杉原千畝と小栗上野介のお二人でした。杉原さんは「命のビザ」として有名なリニアの領事代理だった方。小栗さんは幕末に勘定奉行などの要職を歴任し、欧米列強に負けないように日本の近代化に努められた旗本です。この小栗上野介が来年の大河ドラマの主演に抜擢されました。小栗家の領地であり臨終の地でもある高崎市にお墓があります(東善寺)。大河ドラマが始まって混雑する前に行ってきました。



気合の入った新しい看板。

高崎市でも最西端ですので、高速道路からはかなりかかります。すぐ手前に道の駅があり、テンションが上がっていたのでトートバッグを買ってしまいました。

東善寺では事前に予約することで、上野介について住職が1時間半ほどお話される講話を聞くことができます(1組7,000円)。幕末から明治初期の産業に興味がある方にはお勧めですが、拝観料を払う際にも結構お

話されるので、それだけでもいいかもしれません。

アメリカに行った際に近代文明について感銘を受けた象徴とされるネジも見ることができます。

旗本ですから当然江戸っ子です。領地といっても本人が居たことはなかったのですが、最期の場所となってお墓もこちらにあります。のどかな景色の良い場所ですから、ゆっくりとされていることでしょう。



道の駅でトートバッグを購入。



バターナッツかぼちゃを植えてみました。

今年はいつにも増して、大きなジャガイモが収穫できました。例年と同じように管理したつもりでしたが、何かが違っていったようです。トウモロコシは終了です。台風で結構な被害を受けましたが、思いの外、しっかりと実をつけてくれました。しかし、三割程はカラスに食われてしまいました。きゅうり、ナス、ピーマン、オクラ、大葉、エダマメの収穫が始まりました。トマトはまだ、緑のまま。ゴーヤは成長中です。

我が家の畑

「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」が公開されました。

最近ではリチウムイオン電池から出火した火災のニュースを毎日のように目にします。飛行機に乗っている時であれば逃げ場がないですし、もしも自宅においてあるモバイルバッテリーから出火したり、事務所のビルの他の部屋から出火して延焼したら困るなど考えることもあります。どのように処分すれば良いのか分からず、町役場に相談に行ったこともありました。

便利ではあるけれども少し危険で、取り扱いに面倒な点もあるリチウムイオン電池について、5つの省庁が共同で特設サイトを立ち上げました。

◆リチウムイオン電池による事故が増加

近年、業務で外出する際にスマートフォンやモバイルバッテリーを持ち歩くことが増えています。また、暑い季節にはハンディファンが活躍しています。一方、こうした機器に使用されるリチウムイオン電池が引き起こす発火・発煙事故も増えています。

政府は6月18日、使用方法の誤りや不適切な廃棄等による事故を防ぐため、特設サイトを開設しました。電池の特性や事故を防ぐためのポイントなどを紹介しています。

◆事故を防ぐためのポイント

購入の際は、製品情報やリコール情報を確認すること、PSEマークやリサイクルマークが表示されているか確認することが推奨されています。

使用時には、強い衝撃や圧力を加えないこと、高温になる場所では使用・保管しないこと等が挙げられており、夏の車内、ダッシュボード等が要注意スポットとされています。また移動で飛行機を利用する際は預入れ荷物に含めず、機内持込みについても航空会社のルールを確認するよう案内されています。



捨てる際は、動かなくなるまで使い切ること、で発火リスクが抑えられるとされています。一般社団法人JBRCが設置している「小型充電式電池リサイクルBOX」の場所を検索できるリンクも案内されています。

業務で使用中に事故が起きますと、火災の発生や火傷を負ったりする安全上のリスクがありますので、本サイトで正しい使用方法を確認しておくよう、従業員さんに呼びかけてみてはいかがでしょうか。